

Vol.31

〈発行日〉
令和5年8月1日

松下ゆきよし



県政活動レポート

発行責任者／愛媛県議会議員 松下行吉 連絡先／〒791-2141 伊予郡砥部町岩谷口135 TEL (089) 969-3605

障がい者アートサポートセンターの個展から
癒しの動物を描く

artistの..の

6年前から絵画教室に通い始め、
絵を描くことの楽しさを知りました。
特に、犬、猫は大好きでいっぱい
描きました。その他にも見たこと
もないような動物を図鑑を見なが
ら描きます。

絵の中の動物たちは、優しくかつた
りお茶目だったり、あるいはいたず
らっ子や憂^{うれ}いた表情の子がいたり..。



ロシアンブルー



ワンちゃん

あれ?!どこかで見たことがあるよ
うな、周りにいる誰かさんみたい
にも見えてきます。

彼女が描いた動物たちの絵には、
この地球でもとに生きている命だ
からこそ、みんなが仲良く共存でき
ればという願いが込められている
ような気がします。

絵に出会えたことは本当に幸せ
なことです。彼女の人生を支えてくれ
ています。

「artistの..の」の母より

愛媛県議会定例会（令和5年6月）の概要

6月19日から開催されていた第384回愛媛県議会定例会は、最終日の7月7日に25議案を原案可決して終了しました。可決議案の内訳は、条例9、予算1、人事2、決議1、意見書2、その他10。そのほかに9件の報告事項

図表1 6月補正予算案の概要

エネルギー価格・物価高騰への対応	211億 3,440万円
1 子育て世帯への支援	6億 8,422万円
2 医療・福祉施設や事業者等への支援	204億 5,018万円
アフターコロナを見据えた交流・関係人口の拡大	2億 9,793万円
1 えひめアートプロジェクト推進事業	2,594万円
2 若者参画型地域づくり推進事業	2,200万円 など
防災・減災対策の推進	91億 9,405万円
重要課題への対応強化	7億 7,442万円
1 県立学校振興計画の推進	3,327万円
2 県立学校振興計画校舎等整備事業	1億 785万円 など

改選後最初の定例議会となる今議会では、5月に構成の決まった4会派の代表質問があり、それぞれの立場で理事者と向き合いました。最終日には、7月17日付で退任する八矢副知事が登壇。コロナウイルス対応などを振り返り「チーム愛媛の力を結集して、県民の希望がかない、愛媛がますます輝くことを願っている」と愛媛県への思いとエールを込めた退任挨拶がありました。

可決した議案の概要は、次のとおりです。

1 条例

新規の条例制定はありません。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、同感染症防疫作業の特殊勤務手当を廃止するなど条例改正9件です。

2 予算

一般会計314億80万円の増額補正です。子育て支援や物価高騰への対応が柱となっています。概要は、次のとおりです。

エネルギー価格・物価高騰への対応

211億3,440万円

1 子育て世帯への支援

6億8,422万円

①国の支援対象となっていないため、経済的に厳しい状況にある低所得の子育て世帯に加え、②出産・子育てに伴い、就労による収入が得られにくい子育て世帯に対し、県独自で生活応援給付金を支給する。(①、②は併給可)

2 医療・福祉施設や事業者等への支援

204億5,018万円

(1)医療・福祉施設食料費高騰対策
応援事業

(2) 中小企業振興資金貸付金(緊急経済対策特別支援資金・伴走支援枠)
185億2,000万円

(3) 農業水利施設電気料金支援事業
2,100万円

土地改良区や土地改良区連合が、所有、管理する農業水利施設の電気料金高騰分の10分の7を補助

(4) 林業・木材産業効率化支援事業
3,000万円

林業事業者や製材業者の高効率型機械・設備等の導入や改修に要する経費の2分の1以内補助(上限250万円)など

アフターコロナを見据えた交流関係人口の拡大

2億9,793万円

1 えひめアートプロジェクト推進事業
2,594万円

令和7年度の「とべもり」(注1)を拠点とした芸術祭の開催を目指し、東京藝術大学との包括連携協定(注2)に基づき、地域とアートをつなぐ人材の発掘・育成など、文化・芸術の力を活用した「えひめアートプロジェクト」を推進する。

注1…こどもの城、とべ動物園、総合運

動公園のエリア全体の通称。ロゴマーク、共通活動テーマを設定して一体的な魅力発信に取り組んでいる。

注2…令和5年1月締結

2 若者参画型地域づくり推進事業

2,200万円

デザインを切り口に、第一線で活躍するアーティストやクリエイターを招へいし、県内の若者との交流を図るトークイベントや3Dコンピュータグラフィックス講座など、参画型の地域づくりに向けたイベントを開催する。開催日は、11月11日(土)の前1週間程度を見込んでいる。

防災・減災対策の推進

91億9,405万円

- 1 道路整備や橋りょうの老朽化対策、河川の改修など土木施設の防災・減災対策 86億4,147万円
- 2 森林整備や林道開設等による基盤整備 5億5,258万円

重要課題への対応

7億7,442万円

図表2 前期計画で新しく設置する学校(新学科・コース等を含む) ※下線は統合してできる学校

地区	新しい学校	年度	地区	新しい学校	年度
四国中央	三島	R7	大洲・喜多	<u>大洲</u>	R8
新居浜	新居浜東	R7	八西 西予	<u>八幡浜(仮称)</u> 宇和	R8 R8
西条	<u>周桑(仮称)</u> <u>西条総合科学(仮称)</u>	R8 R8	宇和島 南宇和	<u>宇和島東</u> <u>宇和島南(仮称)</u> <u>北宇和</u>	R7 R9 R7
今治 越智	今治西 <u>しまなみ海洋(仮称)</u> 今治東中等	R8 R8 R8	計画実施に向けて <ul style="list-style-type: none"> ● 準備委員会の設置 ● 振興計画の3本柱の実現 募集停止となった学校をバックアップするとともに、新しい魅力ある学校づくりを実施		
松山 伊予 上浮穴	<u>松山南砥部</u>	<u>R7</u>			
	東温	R8			
	伊予 松山西中等	R8 R8			
	<u>愛媛風早(仮称)【定通】</u> <u>松山南【定】</u> 松山工業【定】	R8 R8 R8			

1 県立学校振興計画の推進

3,327万円

統合等を検討しているまとまりごとの準備委員会で、新校及び新学科・コースの実務的な部分を検討するほか、カリキュラムの研究や教材の開発、職業・学科横断的学習の効果の理解促進など計画の3本柱実現に向けて取

り進む。前期計画で新しく設置する学校(新学科・コースを含む)は、図表2のとおり。

計画に基づき新たに設置する学科やコース等に対応できるように、校舎の新設や教室の整備等に着手する。施設整備の状況は、図表3のとおり。

2 県立学校振興計画校舎等整備事業

1億785万円

図表3 県立学校振興計画 施設整備状況

区分	学校名	施設名	整備内容	再編・統合後					
				R5	R6	R7	R8	R9以降	
新設	西条 総合科学*	新館	統合による学級増及び新学科に対応する校舎を新築 統合・新設される学科・コースに必要な設備						
	八幡浜*	本館(仮)	老朽化が著しい本館を改築 3校統合による機能集約					~R10	
改修等	三島	第1教棟	学科横断型学習教室を整備						
	松山南 砥部分校	特別教棟	サテライトオフィスを整備(砥部町が実施)						
	宇和島東	本館	学科横断型学習教室を整備						
	東温	第3教棟	介護実習室を整備 介護実習設備を整備						
	伊予	普通教棟 本館	学科横断型学習教室、情報教室、レッスン室を整備 情報及び芸術関連設備等を整備						
	大洲	第3教棟 農業科教棟(仮)	学科横断型学習教室、農業実習教室を整備						
	八幡浜*	第2教棟 実習教棟(仮)	学科横断型学習教室、工業実習教室を整備						
	宇和	本館	情報教室を整備 情報関連設備を整備						
	愛媛風早*	第1教棟	定時・通信制に対応する教室を整備 遠隔授業配信センターを整備						
	松山南	本館	統合・新設される商業科(定時制)に必要な教室を整備 商業科関連設備を整備						
	周桑*	第1教棟(仮)	学科横断型学習教室、情報教室を整備 情報関連設備等を整備						
	西条 総合科学*	特別教棟(仮)	農業実習教室を整備						
	しまなみ 海洋*	本館(仮)	統合・新設される学科・コースに必要な教室を整備 島の農業・マリンビジネスコースに必要な設備を整備						
	宇和島南*	第3教棟(仮) 特別教棟(仮)	学科横断型学習教室、情報教室、水産実習教室を整備 情報及び水産実習設備等を整備						
	解体 撤去	川之石 外	解体・撤去	キャンパス校において使用しなくなる老朽施設を解体・撤去					

*の学校名は仮称

3 人事

【県人事委員】

安藤潔氏（59歳）を再任。任期は7月13日から4年間。

【県公安委員】

曾我部謙二氏（71歳）の後任として小野雄史氏（61歳）を新任。任期は7月13日から3年間。

4 決議（2件）

① 地方創生・産業振興対策 ② 防災減災・エネルギー対策 ③ 人口減少・少子高齢化対策 ④ DX推進対策の4特別委員会を設置を決めました。私は、人口減少・少子高齢化対策に所属します。

5 意見書（1件）

带状疱疹ワクチンの助成及び定期接種化や、特別支援学校・学級への教員等適正配置を国に求める意見書を採択しました。

6 その他（10件）

（1）財産の取得

今治工業高校に実習用旋盤10式

（7,504万円）購入。

（2）県営土地改良事業などの地元負担額に関する7件

（3）子ども療育センター児童 思春期病棟新築工事の請負契約

請負額8億9,100万円。施工場所 東温市田窪

請負人 富士・杉野・松山共同企業体

（4）令和3年8月に久万川における地盤沈下によって生じた近隣民家の損害に対する損害賠償額（110万円）決定の専決処分

7 報告

理事者から次のとおり報告がありました。

① 令和4年度一般会計予算の繰越（724億1,833万円）及び事故繰越（36億5,404万円）

② 令和4年度公共用地整備事業特別会計の繰越（1億3,721万円）

③ 令和4年度公営企業（電気事業）（945万円）、工業用水事業（4,849万円）、病院事業（7,278万円）の繰越

④ 自動車交通事故（3件）の補償総額（98万2,413円）

臨時議会

6月定例議会に先立って、5月11日に臨時議会を開催し、正副議長の選任など議会内の役員人事を決めました。議長は高山康人氏（自民党、宇和島市・北宇和郡区、6期）、副議長は福羅浩二氏（自民党、今治市・越智郡区、5期）が選任されました。私は、議会から選出される監査委員に選任されました。常任委員会は、環境福祉委員会に所属します。

このほか、令和5年度一般会計補正予算（31億4,770万円）などの専決処分3件を承認しました。



中村知事から監査委員の委嘱状を手渡されました。

愛媛県の循環器病（脳卒中や心血管疾患）対策と目標

愛媛県の状況

- 健康寿命は、男性全国ワースト2位（71.50歳）
女性全国ワースト4位（74.58歳）（R元（2019）年）
- 死亡原因は、循環器病が第1位で26%（R2（2020）年）
- 心血管疾患の死亡率は、全国ワースト2位（R2（2020）年）
- 医療費は、循環器病が最も多く17.8%（H29（2017）年）
- 高血圧は、男性の収縮期血圧が全国ワースト8位（H27（2015）年）

目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率（注3）の減少

注3：年齢構成を基に調整された死亡率。異なる集団どうしで死亡率を比較する際に用いる。

健康寿命

男性 71.50歳 → 74.50歳以上
女性 74.58歳 → 77.58歳以上

年齢調整死亡率

脳卒中（脳血管疾患）	男性	38.6（全国29位）	→ 26.4
脳卒中（脳血管疾患）	女性	20.0（全国18位）	→ 16.6
心血管疾患	男性	80.3（全国ワースト3位）	→ 65.4
心血管疾患	女性	42.8（全国ワースト1位）	→ 34.2

県議会内の会派

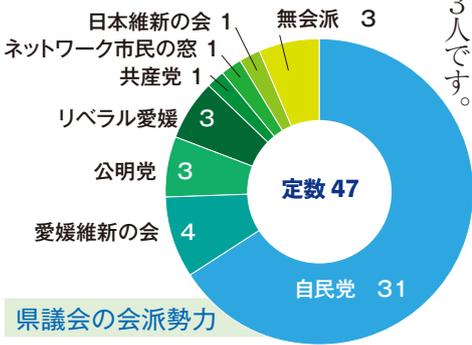
自民党と志士の会が合流し、

新「自民党」に

4月に実施された県議選選挙の結果を受けて、県議会内の新しい会派構成が5月1日に決まりました。

自民党と志士の会が二本化し新会派「自民党」(31人)が誕生。私も新自民党に所属します。議会運営への関与や代表質問ができる交渉会派(3人以上)は、自民党のほか「愛媛維新の会」(4人)、「公明党」(3人)、「リベラル愛媛」(3人)の計4会派です。

改選前の事成会(2人)は解消され、所属していた1人が「日本維新の会」を立ち上げました。そのほか「共產党」(1人)、「ネットワーク市民の窓」(1人)、会派に所属せず活動する議員は3人です。



日感 日雑

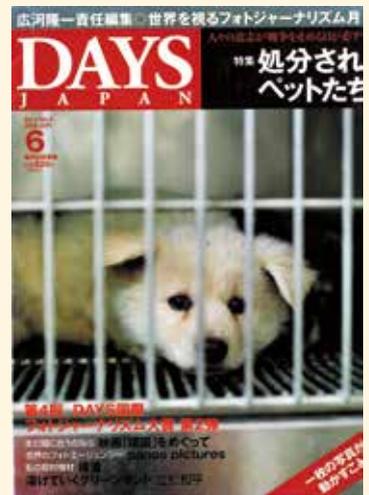
ペットを飼う方が多くなったのは、いつ頃からでしょうか。皆さん家族のように大切にしています。一方で「愛媛県は、犬猫の殺処分が多い」といった声を聞きます。確かにそのとおりです。しかし、その責任を一方的に県や町に向けていいのでしょうか

▼県政活動レポート19号(令和2年3月発行)で「命のものさし」(今西乃子著)という本を紹介しました。



講演の様子。スクリーンの左側が渡辺清一さん

元愛媛県職員の獣医師 渡辺清一さんを主人公に、動物福祉に軸足を置いて書かれたノンフィクションです。公務員獣医師として、野犬の捕獲、処分の現場を体験し、県動物愛護センター長やとべ動物園長を務めた渡辺さん。動物愛護センターでは、マスコミに処分施設を開するなど勇気のある決断を下しています▼現在、動物愛護法も改正され、動物の取り扱いも変わってきました。殺処分は減少していますが、反面引取制度の運用が厳格になり地域によっては野良猫が増えて問題になっています。無責任な餌やりなど、考えなければならぬことです▼様々な命とどう向き合っていくのか。前々から渡辺さんの足跡を、大勢の人に知ってもらいたいと考えていました。5月30日、ご縁があつてあかがね区集会所に渡辺清一さんを招いて、銅いきいきサロンの皆さんとお話を聞くことが出来ました。一つのきっかけになればと考えています。



愛媛県動物愛護センターの取り組みは、DAYS JAPAN 2008(平成20)年6月号に載り、世界に発信されました。

▼今回の表紙は、「アーティストの」さんの作品を使わせてもらいました。お母さまの紹介文にもあるように、動物たちの雰囲気は何とも言えません。作品との出会いは、障がい者アートサポートセンターが、開催したの。さんの作品展です。愛媛県身体障がい者福祉センター館内で、5月17日から開催していました。同センターからマネージャーを務めるお母さまを紹介してもらい、作品使用の許可をいただきました。センターは、芸術文化活動を行う障がい者本人やその家族、障害福祉サービス事業所や支援団体等に対する支援を総合的に行う地域の拠点です。これからも充実した活動を期待しています。

私の本棚

晴走雨読

せいそううどく

正義とユーモア 財務官僚・香川俊介追悼文集

編著：香川俊介さん追悼文集発行委員会

発行：イマジニア株式会社

2023（令和5）年度の国家予算は3月28日に政府案どおり成立しました。総額11兆4千億円。予算規模は、11年連続で過去最大を更新。税収は堅調な企業業績などを背景に69兆4億円と過去最高を見込んでいますが、増収以上に歳出の伸びが大きく、相変わらずの赤字体質です。膨らみ続ける債務残高。ここに私たちが持つ不安の根源があります。

2012（平成24）年、政権与党の民主党と野党だった自民、公明の3党は、社会保障制度の持続可能性を確保するため、消費税増税を柱とした「社会保障・税一体改革」に合意します。今、私たちが負担している消費税10%は、使途が多少変わりましたがこの合意に基づき実施されています。当時、（財務省大臣）官房長として、三党合意に奔走した財務官僚がここに紹介する香川俊介さんです。消費税は、ありがたいものではありませんが、この税がなければ国の信用は、そして、私たちの社会はどうなっていたでしょうか。追悼文集とあるように香川さんは、2015（平成27）年8月、食道がんのため58歳で亡くなっています。事務次官退任から1か月後のことでした。



香川さんは、2014（平成26）年7月に財務事務次官に就任しますが、既に身体はがんに侵されていました。この時期、政府は消費税10%の延期に向け動き始めています。香川さんは、政権の意向に反し消費税を予定通り実施するよう、独自で根回しを進めます。この「レジスタンス」は、当然、政府にも聞こえます。当時の（内閣）官房長官菅義偉氏は、香川事務次官を官邸に呼び、増税延期を言い渡します。その時の様子を「香川はつらかっただろうけど、『長官、決まったことには必ず従います。これまでもそうしてきました。ですが、決まるまではやらせてください』と言っていました。（中略）香川の責任感にはすさまじいものがありました」と、追悼文集につづっています。まさに自らの命を削るよう三党合意実施に向けて奔走しています。時の政権にたとえ疎まれようとも、「将来世代のための消費税増税」を説いた官僚が、ここにいました。

財務省ホームページのトップには、「国の信用を守り、希望ある社会を次世代に引き継ぐ」と、日本を支える矜持が示されています。



愛媛県議会議員

松下行吉

まつした ゆきよし

〒791-2141 愛媛県伊予郡砥部町岩谷口 135

TEL 089-969-3605 FAX 089-969-3606

Email : matsushita31@iyo.ne.jp

<http://www.iyo.ne.jp/matsushita31/>